

農業用水をどうやって手に入れたの？

日本は昔から稲穂の国と言われてます。稲穂とはみずみずしい稲の穂の事を言います。即ち稲の穂はお米です。日本人の主食はお米でしたから、長い間人々はお米を作ることにもっとも力を注いできました。そのお米を作るには水がとて大切です。稲は水がなければ育ちません。そのため稲を作る田へどの様にして水を入れるかに心を注いできました。そのため井水や堤をつくり、近代では一貫水路をつくりました。座光寺をどのように井水がめぐっているか見てみましょう。

座光寺の用水路

座光寺には大きな川が二つあります。南大島川と土曾川でいずれも天竜川に注いでいます。この川から田に水を入れるのですが、その為にいくつかの用水路を築て田に水を入れ、これを井水と言っています。南大島川、土曾川からこの用水路へ水を入れる取入口では水争いが昔ありました。そこで水の当番を置き、水の管理をして公平に配水する事につとめました。この二つの川からそれぞれの用水路を経て田にそそがれる用水路には井掛り組合があり、しっかり管理され今日まで続いています。井とは湧き水や川の流れを汲みとる所という事ですが、座光寺では用水路の事を井と呼んでいます。家の近くの用水(井)は何用水か調べてみましょう。

座光寺の用水路つまり井の主なものあげますと、以下の通りです。

〔用水路〕

- 1 本 沢 井
- 2 西 の 沢 井
- 3 半 の 木 井
- 4 蟹 田 井
- 5 並 木 沢 井
- 6 宮 崎 井
- 7 大 口 井
- 8 観 音 井
- 9 畦 地 井
- 10 中 井
- 11 金 井 戸 井
- 12 天 竜 井
- 13 欠 野 沢 井

〔取入れ川〕

- 1 南 大 島 川
- 2 本 沢 川
- 3 本 沢 川
- 4 土 曾 川
- 5 本 沢 川
- 6 土 曾 川
- 7 南 大 島 川
- 8 南 大 島 川
- 9 南 大 島 川
- 10 土 曾 川
- 11 土 曾 川
- 12 土 曾 川
- 13 天 竜 川

(北原家年代記・古瀬文書・支所文書から)

(今村 衛)



A-1
南大島川からの
本沢井取入口



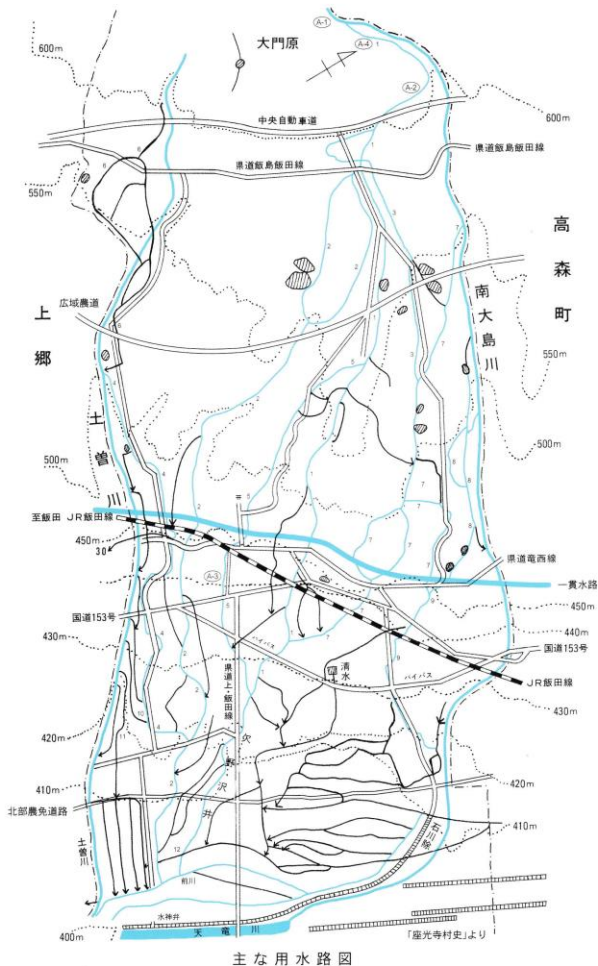
A-2
本沢井(ここ下
流から西の澤井に
分れる)



A-3
並木沢井



A-4
取入口に近い本沢
調節口(余水は南
大島川に返す)



主な用水路図